



モノレールの
ある暮らし

・URASOE・



全国の市および東京23区のうち
住みよい街2017ランキングで
第9位に入り注目されている浦添市。
さらなる生活の利便性の向上を目指し、
沖縄都市モノレール延長事業は順調に工事が進んでおり、
2019年の開業を予定しています。
完成に向けてラストスパートをかける
ゆいレールとまちの様子を紹介します。

立ち並ぶ橋脚、新しく開かれた道、
街の姿が大きく変わろうとしています。



Welcome



Enjoy!



謹賀新年

二〇一八年新年のご挨拶



浦添市長 松本 哲治

あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、本市の市政運営に多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
さて、本市ではこどもの幸福を最優先にするまちづくり「てだこキッズファースト」を宣言し、子育て課題に取り組んでおります。
本市の喫緊の課題であります待機児童につきましては、「てだこのまち子育て応援総合アクション5!」と銘打って、保育定員の増員や認可外保育園の支援はもちろんのこと、一昨年締結した沖縄労働局との雇用対策協定に基づいて、保育士の「働き方改革宣言」や、職場環境改善を示した「保育士「見える化」求人説明・面接会」を開催し、保育士確保に向けた取り組みも実施いたしました。
また、市立幼稚園においては、昨年より3歳児保育と幼稚園給食の導入を一部実施しており、今年も実施幼稚園を増やしてまいります。

さらに、今年4月には幼稚園と保育園の長所を併せ持った施設となる認定こども園を開園するなど、幼稚園と保育園が連携して、総合的に子育て課題の解決に取り組んでまいります。
こども達の健全な発達のための生活リズム改善については、まずは「深夜の子連れ飲食の制限」などを、ここ浦添から発信していきたいと考えております。
まちづくりにつきましては、今年3月には西海岸関連道路が開通予定となっており、その沿線の西部開発の核となる場所に、新たなコンセプトでの大型商業施設の工事が始動いたしました。
また、沖縄都市モノレールでは初めてとなるトンネル区間が貫通するなど、延長整備事業も順調に進んでおり、それに合わせて浦添市スマートシティ開発などの周辺のまちづくりにも取り組んでまいります。
本市はこれからも市民一人一人が輝けるまちを目指し邁進してまいりますので、引き続き本市の市政運営にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
結びに、平成30年が市民の皆さまにとりまして、明るく希望に満ちた一年となりますよう祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



浦添市議会議員 島尻 忠明

あけましておめでとうございます。
市民の皆さまには、希望に満ちた平成30年の新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。
旧年中は市議会活動へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
さて、本市は沖縄都市モノレールの延長事業をはじめ、駅周辺のまちづくり、西海岸開発事業などに尽力してまいりましたが、今後も、これらの事業が進展し、ますます活性化していくものと期待しております。
また、子どもたちの健やかな成長と保護者の皆さまが安心して子育てができるように、全ての市立幼稚園を認定こども園へ移行するための計画的な取り組みが始まり、今年4月からは、市立仲西幼稚園が認定こども園へ移行されます。本市議会でも、女性の社会進出と、安心して子育てができる環境づくりに向けた提案を行ってまいりたいと思います。
市議会においては、昨年3月に第13期市議会議員が誕生しました。市民の負託を受け、市民福祉の向上と市政発展のため、積極的な議会活動に取り組んでいるところでございます。
迎えた平成30年も議員一人一人がその責任を自覚し、市民目線に徹し、市民の皆さまの多様なニーズをしっかりと汲み上げ市政に反映させることで、二元代表制の一翼を担う議決機関としての責務に全力で取り組んでいく所存であります。
結びに、平成30年「戌年」が市民の皆さまにとりまして実り多い、すばらしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

